

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (1) (泉南市)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

住民啓発として、医師を含めた医療介護の専門職で地域（自治会もしくは老人会単位）に出向き「認知症」をテーマに住民とのグループワークを実施。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

個別ケース対応として、専門医受診が必要な場合は近隣の病院と連携することでスムーズな受診につなげることができている。（本人の拒否が無い場合）

III 若年性認知症の人やその家族への支援

毎月 1 回、若年性認知症カフェを開催しているが、当事者もしくは家族の参加はほとんどない状況である。

IV 認知症の人の介護者への支援

明日へつなぐ会（介護者家族の会）へ定期的に参加し、質問があった場合に情報提供を行っている。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

WAO（w：忘れてもだいじょうぶ A：あんしんと O：おもいやりの町 せんなん）をキャッチフレーズに多職種が協働して地域に出向き、住民啓発する機会を設けている。

VI 会議や研修等の実施及び参画

ケアマネジャー向けに「パーソンセンタードケア」について研修会を実施。